

生活安全

大阪教育大学 教授

学校危機メンタルサポートセンター長

藤田 大輔



独立行政法人教職員支援機構

大阪教育大学附属池田小学校事件

- 2001年6月8日、附属池田小学校に1名の不審者が侵入し、8名の児童の命が奪われ、13名の児童と2名の教員が重傷を負わされた。
- 心や体に大きな傷を負わされた児童・保護者・教員に、現在も継続した長期にわたるケアが必要とされている。
- 2度とこのような事件が繰り返されないように、積極的な学校安全推進のための取り組みが必要とされている。

1. Risk management

事故・災害の発生を予知・予測して、
必要な対策を講じる発想や手法

2. Crisis management

不測の事態の発生に対して、
関係者等が被る被害やダメージを
最小限に抑える発想や手法

三段階予防説

1 次予防（発生の予防）

：安全点検・安全教育

Risk Management

2 次予防（進行の予防）

：早期発見・早期介入

Crisis Management

3 次予防（再発の予防）

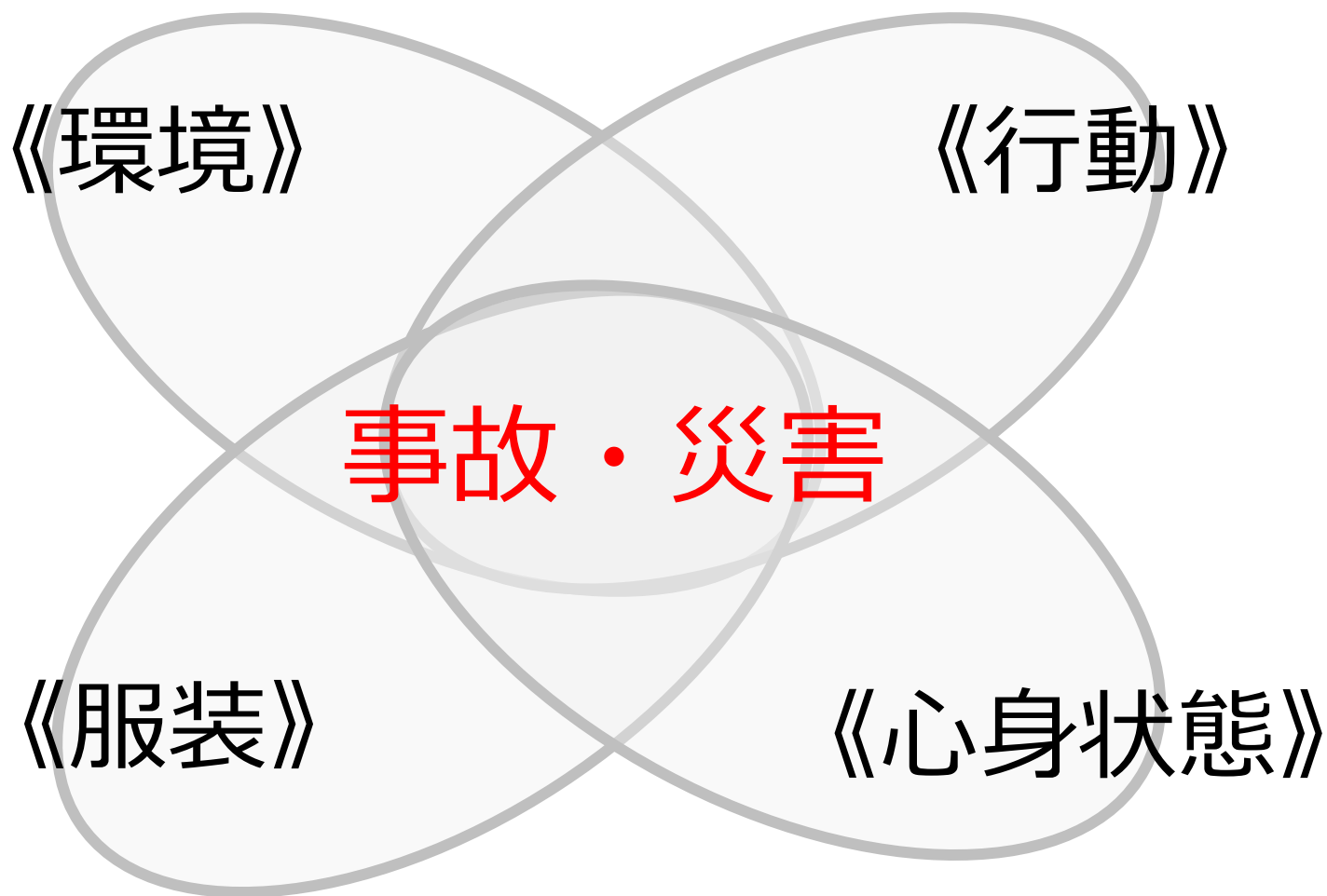
：社会機能〔信頼〕の回復

ハインリッヒの法則

「ハインリッヒの法則」 = 「1 : 29 : 300」

死亡を含む重大災害が1件発生する場合、その陰には29件の軽傷の災害が起きており、更に300件の潜在的な事故、いわゆるヒヤリ・ハット(ニアミス) 事故が発生している。

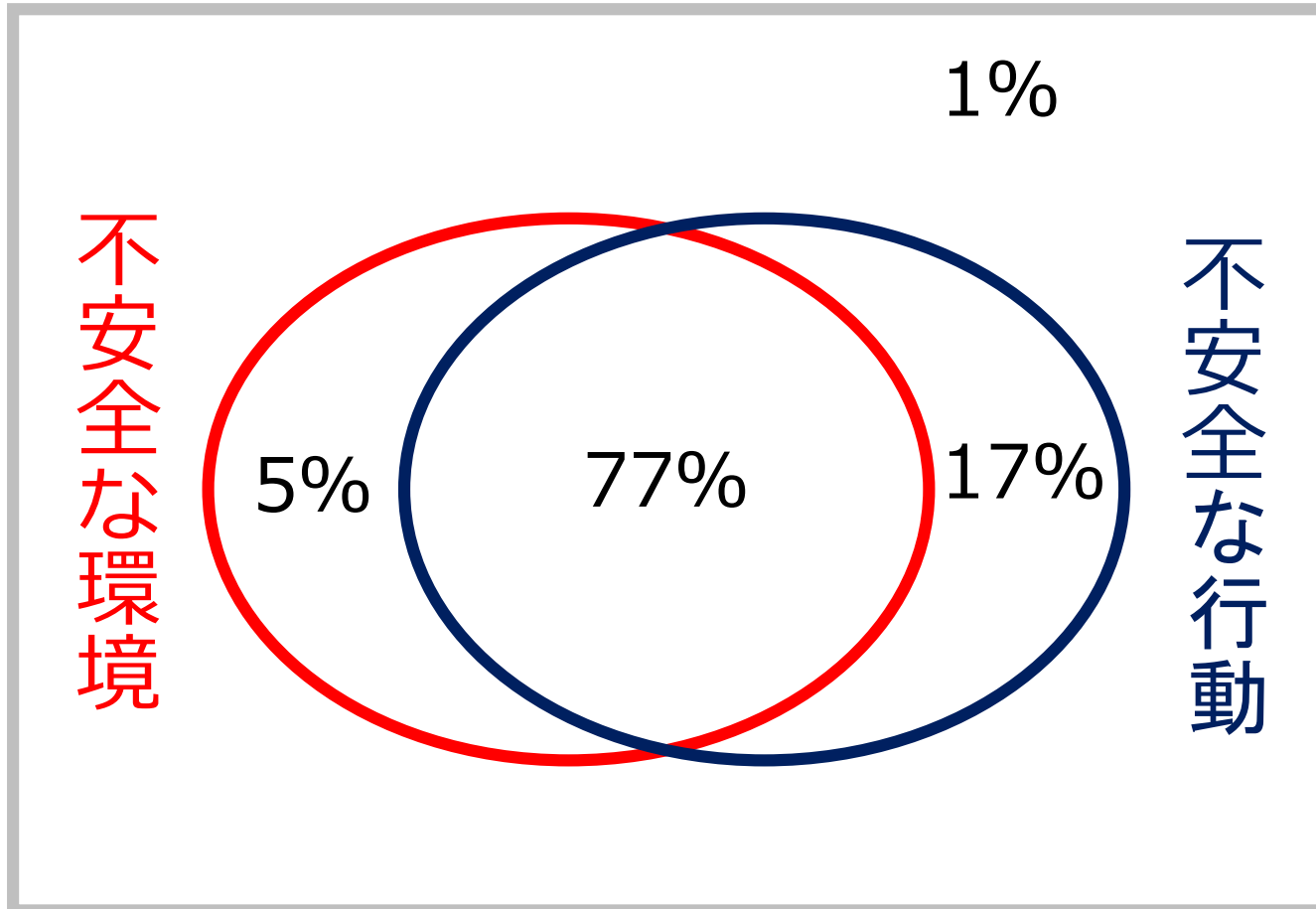
潛在危險論



生活安全領域での危険因子の考え方

要 因		危険因子（リスクファクター）の例
個 人	行 動	廊下や階段で走る、窓から身を乗り出す、フェンスによじ登る、誤った用具の使用、ルールや注意を守らない
	心身状態	あわてる（あせる）、ぼんやり、イライラ、気がかり、ふざける かぜ気味、頭痛、腹痛、体調不良
	服 装	実験時のゴーグル、 不要な装飾物（ヒモやリボン）、 靴や上靴の履き方（かかと部分）、
環 境		廊下の水たまり、床のビニールごみ、 Pタイルの一部破損、蛍光灯がきれている、 廊下や教室の突起物、廊下の傘たてや消火器

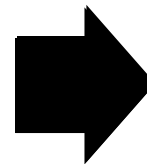
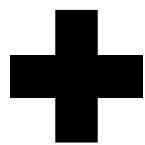
災害の原因



安全な環境

安全管理

年間学校安全計画



安全な行動

安全教育

99%の災害を
予防する

安全推進

第27条（学校安全計画の策定等）

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

第29条（危険等発生時対処要領の作成等）

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領（次項において「**危険等発生時対処要領**」という。）を作成するものとする。

2 校長は、危険等発生時対処要領の職員に対する**周知、訓練の実施**その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。

教職員の取り組み（不審者対応訓練）



学校保健安全法

3 学校においては、事故等により児童生徒等に危害が生じた場合において、**当該児童生徒等及び当該事故等により心理的外傷その他の心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者**の心身の健康を回復させるため、これらの者に対して必要な支援を行うものとする。この場合においては、第十条の規定を準用する。

第10条（地域の医療機関等との連携）

学校においては、救急処置、健康相談又は保健指導を行うに当たっては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

危機管理マニュアル整備のポイント

生活安全領域

➤ 訓練の実施時期（役割分担）

- 「110番」通報の訓練
- 「119番」通報の訓練
- 救急搬送の手順
- 被害者・負傷者の救護
- 関係者・機関への報告・連絡・相談
- 保護者への児童・生徒の引渡し
- 関係する教職員への支援

初動対応

第30条（地域の関係機関等との連携）

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、児童生徒等の**保護者**との連携を図るとともに、当該学校が所在する地域の実情に応じて、当該地域を**管轄する警察署その他の関係機関**、**地域の安全を確保するための活動を行う団体**その他の関係団体、当該地域の**住民**その他の関係者との連携を図るよう努めるものとする。

「学校安全委員会」

チーム学校

(救命救急,
防災情報)

消 防

(学校医,
学校歯科医,
学校薬剤師)

学校三師

警 察

(防犯対策)

保健所

(感染症情報)

学校安全

コーディネーター

(学校安全主任)

行 政

(教育委員会
スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー)

福 祉

(児童福祉)

自治会

(子ども110番の家,
スクールガードリーダー,
交通安全指導員)

家 庭

(PTA活動)

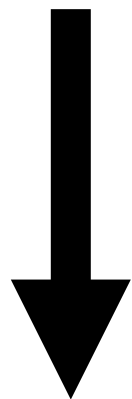
安全の考え方

安全

危険・危機

(安全は危険・危機の残余範疇)

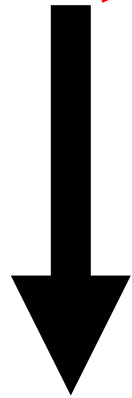
危險見論



犧牲者非難

victim blaming

脅しの教育



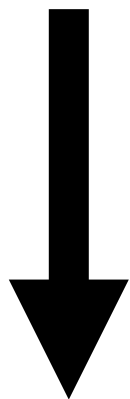
不信・不安感

自己責任感

犠牲者非難

victim blaming

危険発見論



安全共感・協働論
(ソーシャルサポート認知)

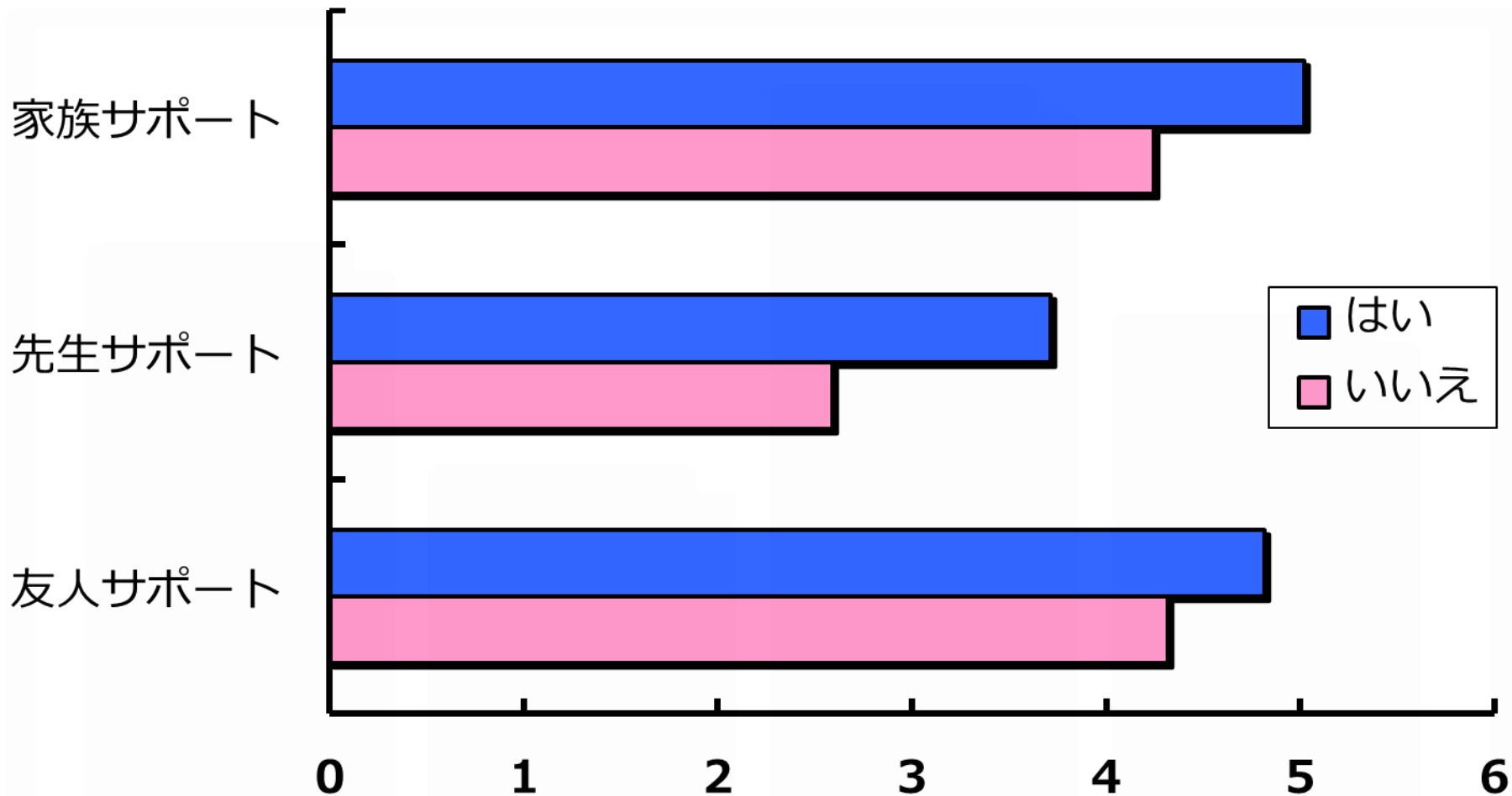
ソーシャルサポート

ソーシャルサポートとは
家族や友人や隣人などのように、
個人の周囲に存在する人々から
得られる有形・無形の支援や援助をいう。

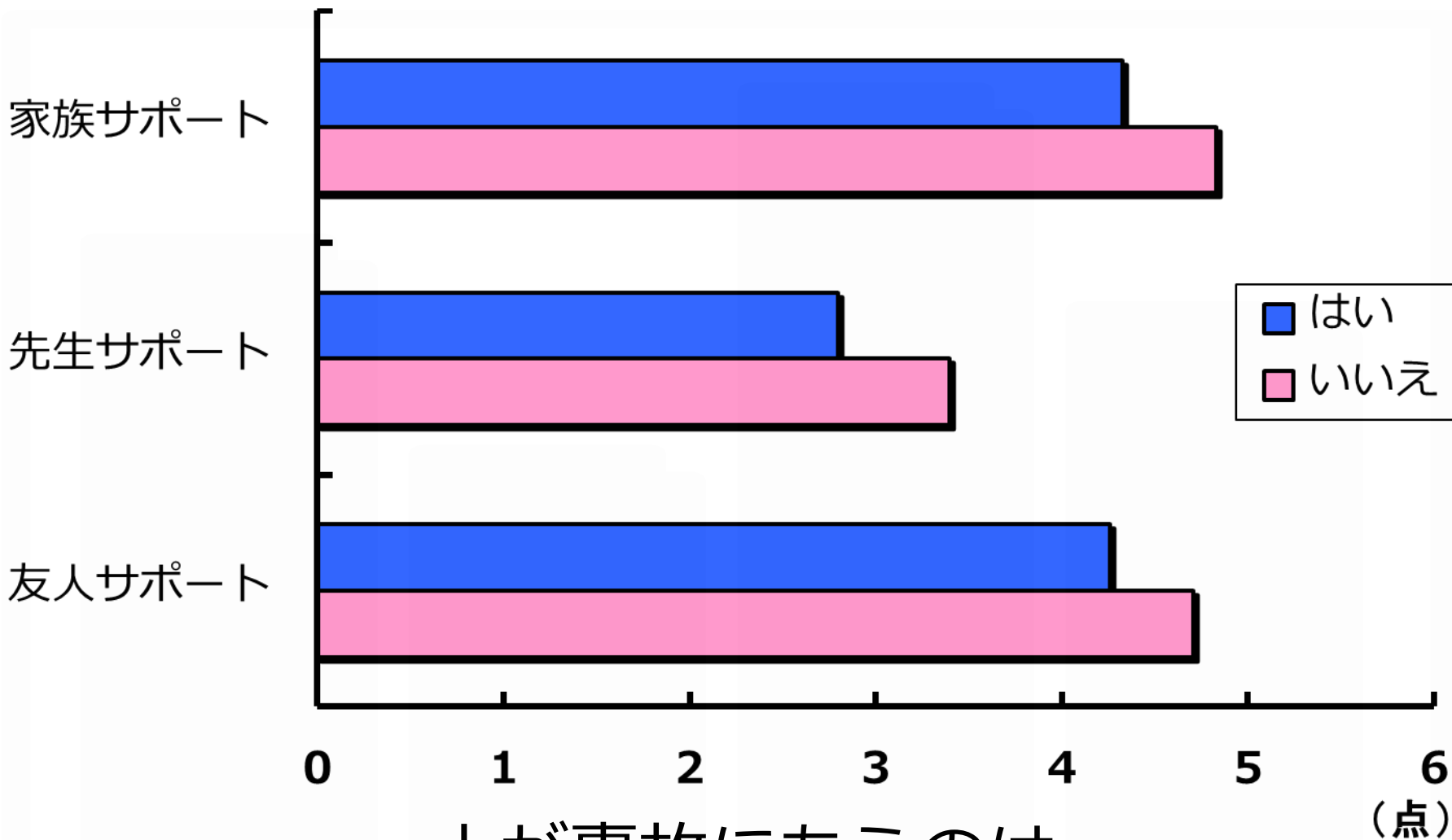
子は親の鏡（一部抜粋）

（ドロシー・ロー・ノルト 作）

励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる
守ってあげれば、子どもは強い子に育つ

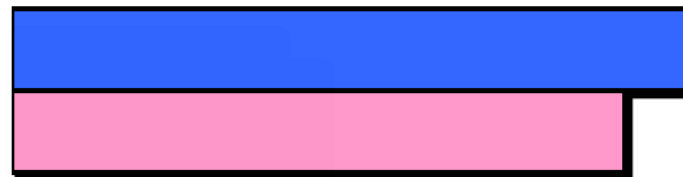


自分から気をつけていたら
危険なことに出あわない

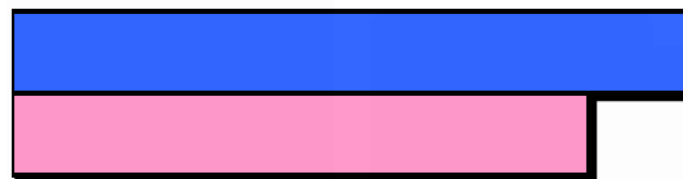


人が事故にあうのは
運がわるいからだ

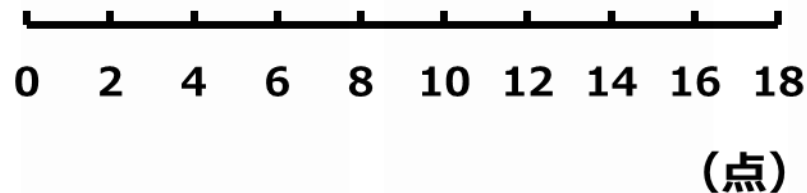
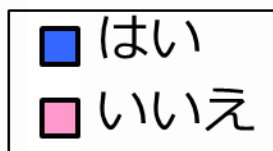
自分から気をつけていたら、
危険なことに出あわない。



お父さんやお母さんの注意を守って
いたら、危険なことに出あわない。



ひとが事故にあうのは
運が悪いからだ。



自尊感情得点の比較

ソーシャルサポート認知

↓
自己肯定感

(かけがえのない自分)

↓
自己効力感

(主体的な安全推進)

↓
協働効力感

(協働的な安全推進)

↓
積極的・包括的な安全推進

危険発見マップ



地域への不安
大人への不信

安全協働マップ



地域への安心
大人への信頼

学校における「生活安全」の活動は、
「安全・安心への共感と協働」を基盤とし、
子どもたちが10年・20年先の
地域の安全・安心を担う人材へと
成長してくれることを目標として
展開していくことが求められています。

安全・安心の持続可能な発展

生活安全

大阪教育大学 教授

学校危機メンタルサポートセンター長

藤田 大輔



独立行政法人教職員支援機構